

の南九州

第 10 号
平成22年 5月7日発行

議会だより

MINAMIKYUSHU CITY



桜満開の清水岩屋公園

一般会計当初予算 204億円	2
予算の審査から	4
21年度一般会計補正予算 3億9000万円	8
学校給食センター特別委員会報告	11
一般質問・11人が登壇	12
市民の声	18

一建設 決まる

3月定例会

平成22年度当初予算 一般会計歳出(目的別区分)

区 分	予 算 額	構成比 (%)	対前年度伸率 (%)
1 議 会 費	1億8,197万円	0.9	△2.8
2 総 務 費	23億 306万7千円	11.3	△9.0
3 民 生 費	60億8,581万1千円	29.7	7.8
4 衛 生 費	16億3,133万7千円	8.0	△1.9
5 農林水産業費	18億9,311万5千円	9.3	22.0
6 商 工 費	1億7,469万7千円	0.9	△3.9
7 土 木 費	18億3,175万9千円	9.0	1.2
8 消 防 費	7億6,179万6千円	3.7	△1.8
9 教 育 費	26億9,538万5千円	13.1	28.7
10 災 害 復 旧 費	118万4千円	0.0	33.9
11 公 債 費	26億9,202万3千円	13.2	△8.4
12 諸 支 出 金	1億5,785万6千円	0.8	△15.1
13 予 備 費	1,000万円	0.1	0.0
歳 出 合 計	204億2,000万円	100.0	4.3

第2回定例会は、2月23日に招集され、3月26日まで32日間の会期で開催されました。

平成21年度補正予算及び平成22年度当初予算など、議案34件・陳情1件・諮問3件・発議2件が慎重審議の結果、いずれも可決、採択されました。

一般会計の主な事務事業

第1次南九州市総合計画策定後の2年目の予算が提案されました。議会は、厳しい財政状況を踏まえた無駄のない効率的かつ効果的な予算となっているか、また、市の一体化が図られた均衡ある事業内容となっているか慎重に審議しました。

総務費

●自治会関係費

1億5,427万5千円

行政嘱託員報酬など

●放送施設経費

410.0万円

集落放送施設(有線・無線)補助など

マリンゾーン基本計画策定事業費

237万3千円

マリンゾーンの振興方策を検討し大まかな事業提案までの基本計画を策定する委託料など

●移住・定住促進対策事業費

381.0万円

若者定住・市外からの移住を促進し、住宅取得などに対する補助である。また、空き家バンク制度の創設に伴い、新たに出身自治会外に住宅を取得しリフォームする場合も補助対象となる。

民生費

●えい中央温泉センター管理費

888万5千7百円

温泉センターの維持管理、賃金、燃料費及び委託料など

●施設整備等補助事業費

1億5,840万1千円

小規模特別養護老人ホームなどの施設整備を行う事業者に建設費用の一部補助

●子ども手当支給事業費

3億8,588万2千円

次代を担う子どもたちを社会全体で応援する観点から、中学校修了まで手当を支給する扶助費など

衛生費

●火葬場管理費(一般経費)

124.1万円

顕娃浄楽苑の管理運営経費及び委託料など

●不被害虫対策費

331.5万6千円

ヤンバルトサカヤスの蔓延防止、生息拡大抑制を図るための需用費など

●不法投棄監視・撤去事業費

530万7千円

不法投棄現場の清掃や監視パトロールの実施に伴う委託料

●浄化槽設置整備事業費

955.7万2千円

合併浄化槽設置者への補助



4月16日開催された行政嘱託員会

平成22年度
当初予算

統合給食センタ



南薩木材加工センターの作業場

農林水産業費

● 林業・木材産業構造改革事業費
4億5132万8千円

● 南薩木材加工センターの新規増設及び機械の更新や負担金補助など

● 畑の郷 水土利館管理運営費 1975万円

● 畑の郷水土利館指定管理委託料など

● 基盤整備促進事業費

1億166万9千円

● 農道・水路・土層改良の工事請負費など

● 茶業振興費（一般経費）

2145万2千円

● 一般事務や事業推進に係る経費並びに茶業

振興対策負担金補助など

商工費

● 商工総務費（一般経費）

3349万1千円

● 商工業振興を図るための各種補助金など

● 川辺仏壇振興費

610万8千円

● 川辺仏壇販路対策事業補助金など

● 消費生活相談員設置事業費

222万3千円

● 市民の消費生活の安定を確保するための相談員報酬など

● 夢・風の里アグリランド管理運営費

3128万4千円

● 指定管理委託料など

土木費

● 市道維持費

1億5373万円

● 市道維持管理に係る賃金、維持補修、設計委託料及び側溝整備工事費など

● 市道単独整備事業費

4億2863万9千円

● 市道整備、環境整備などの工事請負費や委託料など

● 市道補助整備事業費

2億2605万8千円

● 補助事業による市道整備の工事請負費や委託料など

● 地域住宅交付金事業費

1億2071万3千円

● 市営住宅の整備・改修に要する工事請負費や公有財産購入費など

消防費

● 広域消防組合費

5億5850万1千円

● 南薩地区消防組合、指宿地区消防組合の負担金など

● 消防施設費（一般経費）

6655万9千円

教育費

● 安全・安心な学校づくり交付金事業費

2億3796万円

● 別府小学校・大規模改造工事に伴う工事請負費及び仮設校舎賃借料など

● 松山小学校

2323万6千円

● 消防施設の維持管理及び消防ポンプ車1台、小型ポンプ7台の更新と防火水槽3基の工事請負費など

● 大規模改造工事及び仮設校舎設計業務の委託料

● 田代小学校屋内運動場耐震補強・大規模改造設計業務の委託料

● 給食センター建設事業費

5億1075万3千円

● 新築工事設計業務委託料や敷地造成及び建設工事費など

● 地区公民館管理運営費

4118万5千円

● 公民館運営に要する需用費や委託料など



大規模改造される松山小学校校舎

安全でうるおいのある

生活環境づくり

◆総務常任委員会◆

自治会の活性化に 向けた取り組み

●自治会関係費

行政嘱託員への報酬及び自治会集会施設等整備補助が主なものである。

～審査の中で～

問 嘱託員報酬の3地域統一はいつなっているか。

答 22年度から、自治会割が年12万円、世帯数割が1世帯当たり年5400円で統一される。

●放送施設経費

自治会が整備する無線・有線放送施設の50%を補助するものである。現在、162自治会が無線、103自治会が無

線、3自治会が施設なしという状況である。22年度、40自治会が無線放送に移行する。

市民の安心安全を 守る取り組み

●消費生活相談員事業費

消費生活に係る消費生活相談員の報酬が主な経費である。

～審査の中で～

問 相談員が設置された昨年11月からの相談件数と相談内容は。

答 33件の相談があり、クーリングオフがほとんどである。

※クーリングオフ

購入契約をした消費者が、一定期間内なら無条件で契約を取り消すことができる制度。

●消防施設費

小型動力ポンプ7台、消防ポンプ自動車1台、小型ポンプ積載車1台の更新が主な経費である。

～審査の中で～

問 小型動力ポンプ及び消防ポンプ自動車の更新基準はどのようになっているか。

答 いずれも17年から18年をめどに更新計画を立てている。

公有財産管理の 取り組み

●公有財産管理システム 構築事業費

紙ベースの公有財産台帳を統一化し、*GIS(地理情報システム)を利用した公有財産台帳管理システムへの構築を図るための委託料が主なものである。

3地域で異なる紙ベースの公有財産台帳を統一し、電算化して整備するとともに、新公会計制度に伴い土地・建物の評価を試算する義務があるこ



交換される平和会館の照明

～審査の中で～

問 展示室の電球をLED化することによる効果と3年かけて替える理由は。

答 LED電球は、白熱電球に比べ5分の1強の電気代となる。財政負担を考慮し、800個のうち250個を本年度に交換する。

※LED

電流を流すと発光する半導体素子の一種

●平和会館管理費

維持費軽減と展示物劣化防止のため中央展示室照明のLED化及び展示室・視聴覚室のタイルカーペット張替えが主なものである。

の審査から

P4
S
P6



更新される消防ポンプ自動車

一般会計予算

いきいきと健やかに暮らせる
健康・福祉のまちづくり

◆文教厚生常任委員会◆

高齢者福祉の充実

施設整備等補助事業費

小規模特別養護老人ホーム1カ所及び小規模多機能型居宅介護施設2カ所の整備に対する補助金。

第4期介護保険事業計画に基づき、市

長が認可する市内の福祉事業所（募集し選定）への整備補助。

子育て支援の充実

子ども手当支給事業費

中学校修了までの児童に子ども手当及び児童手当を合算し、月額1万3千円を支給するものである。

〔審査の中で〕

問 税金等の滞納者について、子ども手当を差し押さえ出来ないか。

答 現段階では難しい。なお、保育料などを滞納している場合は、窓口での直接払いとし、児童手当支給時に了解を得て納付してもらっている。

教育施設の充実

給食センター建設事業費

既存の老朽化した3学校給食センターを統合建設するもので、設計業務委託料、建設工事費に要する経費で、建設工事は、22年度及び23年度の2カ年継続事業である。

〔審査の中で〕

問 川辺と知覧の給食センターは、調理及び配送業務を委託しているが、委託先は入札で決定するのか。

答 他に業務を受託できる業社があれば、既存の2社を加えた入札となる。

問 現行雇用者の身分保障はどうなるのか。

答 可能な限り雇用できるように最善を尽くしたい。具体的には、発注時の仕様書に雇用の確保を明記することや、契約条件に付することで雇用確保は可能と考える。

問 学校給食センター建設に向けた、PTA及び住民に対する説明会を開催したか。

答 PTAなどには説明していないが、整備計画検討委員である代表者には説明している。

修正案の提出

2委員から給食センター建設に係る減額修正案が提出された。

趣旨

・建設費の基礎となったプロポーザル方式の採用や、その経緯、調査内容などがずさんである。

・市民から疑義が出ており、パブリックコメントが発揮されていない。

・建設費について、積算基礎が脆弱であり、高額となっている。市民に説明責任を果たすべきであり、財政事情や市民の融和と一体感が危惧される。

修正案に対し、2委員が反対の立場、1委員が賛成の立場で討論、採決

の結果、賛成少数で、修正案は否決されました。

※プロポーザル方式

技術的に高度又は個性の重視される業務を発注するにあたり、当該業務に係る実施体制、実施方針、プロジェクトに対する提案等に関するプロポーザル（企画提案書）の提出を受け、必要な場合にはヒアリングを実施した上で、当該プロポーザルの評価を行って、当該業務に最も適した設計者を選定する方式です。

委員会として

○地産地消の推進や納入業社の保護、確保を図るため、早急に出荷協議会の確立を図ること。

○3給食センターの職員雇用の問題について、入札執行前に仕様書に明記し、雇用が確保されるよう努めること。

○事業費は、他市と比較し、高額な予算となっており、実施設計の段階で十分に検討し、削減に努めるよう強く要請する。



元気でのびのび遊ぶ園児たち

人と物の交流を促進する 社会基盤づくり

産業建設常任委員会



サツマイモ植付準備のマルチ張り

※生分解性マルチ
土壌中の微生物によっ
て分解されるマルチ

〔審査の中で〕

問 事業実施面積と対象
品目は何か。
答 穎娃地域5ヘクタ
ル、知覧地域5ヘクタ
ル、川辺地域3ヘクタ
ルの計13ヘクタールで、
焼酎用・加工用・澱粉用
さつまいもに限定して行
う。

社会基盤の整備

市道補助整備事業費

新規2路線を含む、7
路線の整備と、橋長15m
未満の詳細点検7橋及び
計画策定217橋の委託
料などである。

橋梁長寿命化策定事業費

橋長15m以上の94橋に
係る計画策定委託料で、
橋長15m未満の217
橋を含め、市内全橋梁
311橋の計画策定が22
年度で完了する。

都市計画総務費

平山稲荷町地区整備計
画作成業務委託料など。

〔審査の中で〕

問 整備計画の詳細な内
容を示せ。

答 川辺地域の平山及び
田部田地区の中心部は、
街路事業で幹線道路のみ
整備されたことから、幅
員が狭く、排水施設が整
備されていない路線が多
い。今回、川辺高校から

国道225号までの7ヘ
クタールについて区画整
理を基本とした市街地の
整備手法を検討する。

塘之池公園施設整備事業費

公園内の案内板及びト
イレ設置工事に要する経
費などであり、本公園は
10年度から整備着工し、
22年度で完了する。

委員会として、本公園
が市民に愛され、有効活
用される施策を展開する
ことを望むものである。

●諏訪運動公園施設整備
事業費
国のまちづくり交付金
事業で公園内2カ所の芝
生広場整備を行うもので
ある。

〔審査の中で〕

問 公園整備は建設課が
行い、整備後は複数の課
の所管となるが、今後の
管理体系はどうなるの
か。
答 21年度から検討会を
行っており、23年度に統
一する方向である。



完成間近かな塘之池公園

農林水産業の振興

都市農村交流対策事業費

グリーンツーリズムイ
ンストラクターの養成講
座への参加経費が計上さ
れている。

資格取得後1、2年の
職員異動ではなく、7、
8年は専門員として配置
し、事業効果を上げるよ

うとの意見が出された。

流通対策事業費

※生分解性マルチの試験
使用モデル事業で、購
入価格が倍以上となるた
め差額補填するもので、
事業主体であるJA（南
さつま、いぶすき）に対
し、事業費の3分の1以
内を補助する。

茶業振興費

かごしまお茶まつり
2010 in 南九州市実
行委員会補助金ほか6補
助金が主である。

かごしまお茶まつりは
従来、生産者主体で開催
していたが、今回は消費
拡大を一層図るため、よ
り多くの消費者の参加を
募るバスツアーを企画し
ている。

平成22年度 当初予算 特別・企業会計

特別会計の主な事務事業

特別会計	国民健康保険事業	60億7,300万円
	老人保健事業	480万円
	後期高齢者医療	5億1,790万円
	介護保険事業	40億7,700万円
	簡易水道事業	4億1,510万円
	農業集落排水事業	7,350万円
	公共下水道事業	2億1,810万円
企業会計	水道事業（収益的支出）	2億9,821万8千円
	水道事業（資本的支出）	1億5,250万1千円
総 額		118億3,011万9千円

国民健康保険事業

○一般被保険者療養給付費
34億989万1千円

○保険医療機関に支払う給付金
34億989万1千円

○一般被保険者高額療養費
4億4200万円

一定基準額を超える額の負担金補助

老人保健事業

○医療給付費
325万5千円

旧老人保健医療に係る診療報酬基金及び国保連合会へ支払う扶助費

後期高齢者医療

○後期高齢者医療広域連合納付金
5億1550万円

県広域連合に納付する負担金

介護保険事業

○居宅介護サービス給付費
10億9200万円

サービスを受けた場合に支払う負担金

○施設介護サービス給付費
18億円

施設サービスを受けた場合に支払う負担金

○居宅介護サービス計画給付費
1億3200万円

居宅介護サービス計画の作成に要する負担金

簡易水道事業

○施設管理費（一般経費）
8441万1千円

水源・送配水施設の維持に要する経費など

○建設改良費
1億1366万円

水道供給施設の維持及び工事請負費など

農業集落排水事業

○知覧垂水維持管理費
280万5千円

水道事業

○川辺東部維持管理費
807万6千円

処理場及びマンホールポンプの維持管理委託料など

○原水及び浄水費
5124万2千円

取水・浄水・送水施設の動力費など

○配水及び給水費
2621万1千円

上下道の配水・給水施設の修繕費など

公共下水道事業

○浄化センター維持管理費
1576万円

知覧中央浄化センター維持管理委託料など



21年度3月補正 一般会計

きめ細かなインフラ整備による 大型補正

地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業、補助事業など総額3億9277万8千円を補正しました。主なものは、次のとおりです。

総務費

庁舎等改修工事事業費

3480万1千円

額娃庁舎トイレ改修・川辺庁舎の空調設備改修工事など

民生費

子ども手当支給事業費

159万7千円

平成22年度から施行される「子ども手当」の円滑な実施を行うためのシステム開発に係る経費

衛生費

浄楽苑車寄増築工事事業費

390万1千円

額娃浄楽苑のバス昇降所用の屋根設置工事など

私立保育所等運営費

5197万7千円

入所児童数が増加したことに伴う運営費

農林水産業費

市単独土地改良事業費

2582万円

農道9地区の舗装及び排水路6地区の整備

農地防災事業費

4071万5千円

川辺滝之上地区の河川応急対策として、転倒ゲート改修工事

土木費

市道単独整備事業費

2500万円

中福良瀬世線・塗木浮辺線の舗装補修工事

市道維持費

8890万円

市道維持管理のため、額娃地域8件・知覧地域8件・川辺地域7件の側溝整備や舗装補修

教育費

小学校施設整備事業費

2669万4千円

小学校施設の環境整備及び児童の安全対策工事費

中学校施設整備事業費

1640万円

中学校施設の環境整備及び生徒の安全対策工事費

平和公園施設整備事業費

2028万7千円

知覧平和公園の陸上

諸支出金

公共施設等整備基金費

2億円

今後の公共施設等整備に要する財源確保のため、基金へ積立てを行うものである。

学校整備積立基金費

1億8400万円

今後の学校施設整備に要する財源確保のため、基金へ積立てを行うものである。



バス昇降所用屋根が設置される額娃浄楽苑



改修される知覧平和公園テニスコート

条例の改正

手数料の 無料化など

公文書開示

開示請求手数料は、1件につき300円を無料とし、写しの交付は白黒1枚につき25円を10円に、カラー1枚につき50円を30円にしました。

給料の減額

特別職

厳しい財政状況であるため、平成22年4月から給料月額を市長が10%（82,700円）、副市長が5%（32,600円）、教育長が3%（18,400円）減額しました。

- 公営住宅は、国の補助を受けて建設されたもので、入居者の所得制限がある。
- 一般住宅は、市(町)単独で建設されたもので、入居者の所得制限はない。

(参考) 平成22年4月1日現在

種別	額 娃	知 覧	川 辺	合計
公 営	2 2 1 戸	2 3 1 戸	6 2 戸	5 1 4 戸
一 般	6 戸	6 4 戸	1 4 戸	8 4 戸
その他	4 1 戸	1 8 戸	3 2 戸	9 1 戸
計	2 6 8 戸	3 1 3 戸	1 0 8 戸	6 8 9 戸

居室数の 制限なし

公 営 住 宅

入居を希望する単身の高齢者及び身体障害者などが、建物の規模の制約を受けることなく入居できるようにしました。(従来、住宅の規格が居室数3以下の住宅となっていた)

入居者条件 の変更

一 般 住 宅

単身者用の入居者は「市外に住所を有しかつ勤務先が市内にある者」となっていたが、市内に住所を有する単身者も入居できるようにしました。

決 議

交通事故防止に関する決議 (抜粋)

昨年、県下の交通事故による死者は101人で本市においては3人の方が亡くなったほか、本年1人の方が既に犠牲になっており、交通事故防止は喫緊の課題である。

安全で安心して暮らすことができる地域社会を実現することが市民の負託を受けた責務であることから、「日本一交通事故の少ないまち」を目指し警察や関係機関などと連携し、市民と一体となって、交通事故防止策を積極的に推進する。

南九州市議会

陳情採択

改正貸金業法の早期完全施行等を
求める陳情書

【提出者】

南九州市川辺町高田四四六八番地

内 匠 良 一

意 見 書

- ①改正貸金業法を早期に完全施行すること
 - ②自治体での多重債務相談体制の整備のため、相談員の人件費を含む予算を十分確保するなど相談窓口の拡充を支援すること
 - ③個人及び中小事業者向けのセーフティネット貸付をさらに充実させること
 - ④ヤミ金融を徹底的に摘発すること
- の意見書を衆議院議長ほか関係機関に送付しました。

人

事

案

件

◆ 人権擁護委員 ◆



安山 茂氏

川辺町 野崎



上村 敏子氏

颯娃町 牧之内



浮邊 泰祐氏

颯娃町 別府

※同委員は、市町村が議会の意見を求め、法務大臣に推薦するものです。
任期は、法務大臣が委嘱した日から3年間です。



議会会議録はここで見れます。

- ◎校区公民館(各館1部)
- ◎市立図書館(各館2部)
1部は貸出用です。
- ◎インターネット(南九州市ホームページ)

請願・陳情について

請願・陳情は、市民の皆様の意見や要望を行政に反映させるための制度で誰でも議会に提出することができます。

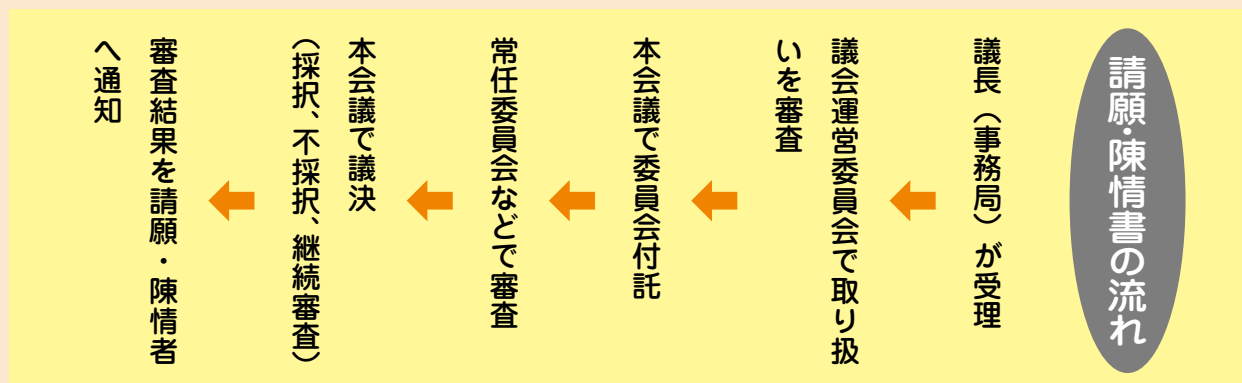
請願・陳情の提出方法

請願・陳情の件名、趣旨、提出年月日、提出者の住所・氏名（法人等団体の場合は、その名称・代表者氏名）を記載し捺印の上、議長宛に提出してください。

請願の場合は、その趣旨に賛成する市議会議員の紹介が必要となりますので、紹介議員の署名又は捺印が必要です。

なお、議会運営委員会2日前（土・日曜日は除く）に受理されたものは、その定例会で審査し、それ以降に受理したものは、次回以降の定例会で審査することになります。

詳しいことは、議会事務局（83-2511）までお問い合わせください。



学校給食センター建設調査

特別委員会報告

給食センターの現状

施設名	建築年	敷地面積(㎡)	建築面積(㎡)	給食数(食)	年間経費	今後改善が必要な事項
川辺給食センター	S53年	2,265	797	1,268	5,626万8千円	ウエット方式からドライ方式へ換気扇の取替など
知覧給食センター	S44年 (H2年改修)	2,016	583	1,181	7,302万3千円	ウエット方式からドライ方式へ休憩室事務室の拡張など
穎娃給食センター	S48年	2,103	471	1,193	7,767万1千円	ウエット方式からドライ方式へ排水処理施設の設置など

給食センターの統合計画

建設地	建築年	敷地面積(㎡)	延床面積(㎡)	給食数(食)	事業費	備考
知覧	H22年・23年	7,000	2,518	3,500	13億300万円	ドライ方式 H23年9月開始予定

視察研修先の現状

研修先	建築年	敷地面積(㎡)	建築面積(㎡)	給食数(食)	実質事業費	備考
鹿屋	建築中	7,641	2,732	6,000	14億1,300万円	ドライ方式 10年前から計画し十分な協議
志布志	H20年	6,425	2,148	3,000	8億1,900万円	ドライ方式 2センターで運営中(将来1センターで運営予定)



志布志市給食センターでの視察

委員会の意見集約

一、事業費について視察研修先（鹿屋・志布志）と比較し、極めて高額であり、事業費削減が望まれる。

一、現行雇用者の身分保障及び雇用を確保すること。

一、関係機関との協議の場がなく、理解が得られ

れていないので、十分な協議を求める。

個別の意見

◎3センターとも老朽化が著しく、行財政改革の観点から統合し建設すべきである。

◎穎娃給食センターは、老朽化が著しいことから新たに建設し、2センターは施設改修により維持すべきである。

◎鹿屋市は10年かけて建設に着手してい

べきである。
◎予算決定していないのにプロポーザル方式により業者が内定している。このような進め方は、適正であるべき業者選定において、誤解を招く恐れがある。
◎財源充実に当たっては過疎債を含め十分協議し、より有利な事業を導入すること。

結 び

各委員の見解が異なることもあり、学校給食センターの是非などについては特別委員会としての判断を示さなかつたところである。

※ドライ方式
作業をする調理台の上や床などは常に乾いた状態。

※ウエット方式
釜を洗ったときにこぼれた水などで、床は濡れた状態。

市政に問う!

11人が
登壇

いっぱん質問



深町 幸子 議員

市民歌制定

今後の
スケジュールは
市長／22年度末に完成予定

深町 21年度に市民歌制定委員会が設置されたが、今後の市民歌制定に向けたタイムスケジュールを問う。

市長 3月1日から5月末まで歌詞の募集をし、制定委員会において歌詞

満留 穎娃地区を中心とした南部学校給食センター（仮称）を建設し、5～10年後をめどに北部学校給食センター（仮称）を建設する2センター方式が望ましいと考えるが、見直す考えはないか。

市長 行政改革大綱に基づく集中改革プランの主



満留 秀昭 議員

給食センター

2センター方式に
見直す考えはないか
市長／統合し建設する

旨に基づき、現在3カ所にある学校給食センターを統合して建設する方向で進める。

学校給食会（仮称）を設立する考えはないか
市長／設立する考えはない

満留 学校給食センター運営については、現在の「川辺学校給食会」への委託方式を採用し、「南九州市学校給食会（仮称）」を設立させ運営することが望ましいと考える



調理中の給食センター

るが、見解を問う。

市長 この業務を受託したいという民間事業所が

ある以上、市が民間事業所の設立に関与する考えはない。

市民の声を

観光振興

九州新幹線全線開業に向けた取り組みは

市長／可能な限り、積極的に取り組む

蔵元 今年に入ってから、来年春の九州新幹線全線開業に関する報道が数多くされている。県は平成20年3月に新幹線効果活用プラン推進会議を立ち上げ検討を重ねている。本市は県内でも有数な観光客の受け入れを誇り、開業イベントでは、ねぶた運行も予定されて

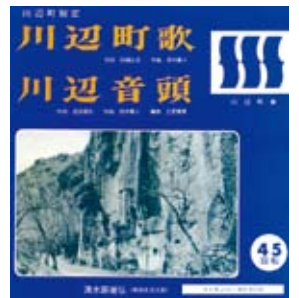


蔵元 慎一 議員

いるが、そのほか本市の取り組みはどうか。
市長 現在、観光客の入り込み状況が昨年同期から約2割の減少となっており、本市としても、関西圏や名古屋を含め例年以上の誘致活動を実施している。また、教育旅行への需要が期待されることから、平和教育や農林漁業体験をテーマにDVDを作成し関係機関へ配布して好評を得ている。今後県内全域で官民一体となった歓迎や観光客誘致の活動に可能な限り、積極的に取り組んでいく。



鹿児島中央駅の観光PR広告板



旧3町の町民歌

の決定をする。
7月から9月にかけて作曲を専門家に依頼し、10月上旬に曲の決定を行い、11月ごろからCD録音製作に移る。
23年2月ごろに南九州市民歌をお披露目するスケジュールで取り組む。

市民音頭を制定する 考えはないか

市長／制定に向けて努力する

深町 施政方針の中で、生涯体育の推進については体育協会や競技団体、スポーツ少年団などの育成や支援に努めながら健康、体力づくりを推進すると述べている。体育大会などのイベントで市民音頭が繰り広げられるこ

とを願っているが考えを問う。
市長 市民音頭については、歌詞、曲に加え、振り付けまで制作するために市民の声を広く聴く。具体的なスケジュールは組んでいないが、出来るだけ早く制定に向けて努力する。

地産地消

どう取り組むか

市長／積極的に活用したい



竹迫 毅 議員

竹迫 農林水産業振興のため生産者グループを育成するとともに、J A、漁協などに働きかけ学校給食への活用増や市民への消費拡大を図る考えはないか。

市長 地産地消の活動は増加傾向にある。情報を提供し、グループの育成を図り、学校給食にも更に地場産を活用したい。

新給食センターの運営は

教育長／調理・配送業務は委託する

竹迫 完成後の給食センターの運営はどのように考えているか。

教育長 管理業務は所長以下数名の市職員を配置し、県費負担の栄養教諭の指導のもと、調理・配送業務は、現在受託している方の雇用を前提にし



生産者の陳列作業（やすらぎの里）

た入札方式により受託業者を決定したい。

竹迫 食材は安心安全が大事で、購入については保護者の負担も考えるべきだが、食肉の単価はどのようになっているか。

教育長 1 kg 当たり牛肉は、川辺 2600 円、鶏卵 1030 円、鶏肉は川辺 900 円、豚肉は川辺 550 円、鶏卵 620 円、鶏肉 550 円である。



東 兼喜 議員

東 運行中の市コミュニティバス「ひまわりバス」の利用者拡大に向け、利用効果を活かした路線、コースの見直しは考えられないか。また、現在の運行は、利用者や地域の声に充分に対応されているか。

市長 この事業は一般乗合旅客運送法に基づく補助事業を活用しており、運行コース、時間の変更は九州運輸局との協議も必要である。現在、実証運行中で、今後、住民アンケートや自治会とも協議のうえ、1 カ年をめどに見直しを検討したい。

温泉センター「割引券」の提示は
市長／公平性のため確認が必要

東 市が管理運営及び指

ひまわりバス

路線の見直しを

市長／一カ年をめどに検討する



拠点間バスの乗り継ぎ場

定管理している5温泉施設で「割引券」「フリーパス券」の提示に差異があるが、どのように対応する考えか。

市長 利用される方には

不便に感じることもあるかもしれませんが、公平性を保つため必要な確認作業であり、今後も条例に基づき割引券などの提示を求め確認する。

市道整備

集落内の整備を

市長／総合計画に基づき
整備する



塗木 弘幸 議員

塗木 集落内の市道は、防塵舗装のみで、側溝整備されていない路線も多いが、計画を立てて整備する考えはないか。

市長 市道の維持管理については、総合計画において側溝整備や舗装補修事業などの維持費を登載して、今後も引き続き道路維持管理を行う。また、基幹道路の整備が終わり次第予算化した。

ある農業は、大型機械の導入などにより大規模化し、耕作農地が不足している状況である。耕作者は大規模な農地整備を望んでいるが、行政が主体

となり農地開発事業の導入に取り組む考えはないか。
市長 市としては、地元農家への事業推進や説明会の開催並びに国・県への事業採択に向けた努力を行っていく。地元では事業要望を話し合う委員会などを立ち上げ、行政と一体となった事業採択への取り組みが必要である。

塗木 本市の基幹産業で

農地開発の取り組みは市長／地元と一体となり取り組む



整備が待たれる市道

取り組み状況は

市長／集中改革プランに基づき推進する

行財政改革



柚木 茂樹 議員

柚木 これまでの行財政改革の取り組みの所見を問う。

市長 行政内部組織として行政改革推進本部会議を設置し、行財政改革の検討をしながら、また、外部組織としての学識経験者や市民で構成される



行政改革推進について審議する委員

行政改革推進委員会を設置し、行財政改革を推進している。20年度に行政改革大綱を策定し、具体的には、5カ年の集中改革プランに基づき推進している。

22年度は、事務事業ごとの達成状況を検証し、継続的に改善や見直しを図り、職員の意識改革と政策形成能力の向上を図り、終りなき改革として行財政改革に努める。

指定管理者制度の導入は

市長／積極的に推進したい

柚木 指定管理者制度導入の所見を問う。

市長 制度の指定期間は5年間が多く、更新にあたっては、指定管理者から提出される報告書を基に、利用状況、制度活用効果を検証して、更新のぞみたい。また、公の施設で外部委託により効果的・効率的な運営が図られる施設については、積極的に推進したい。

茶業振興

茶工場再編 どう考えるか

市長／合理的な工場再編を進める



松久保 正毅 議員

松久保 茶の生産額が平成16年の179億円をピークに年々減少し、昨年は102億円となった。老齢の茶樹が65%もあり、消費の低迷や荒茶の在庫過多も原因と考えられるが、施政方針での組織育成や茶工場再編の施策を問う。

市長 振興会や茶工場組織の中で情報と問題意識



新茶を摘採する茶農家

の共有化を図るよう指導する。また、国の補助事業を積極的に推進するとともに、アンケート調査をもとに金のかからない合理的な工場再編を進め、経営強化を図る。

学校給食センターの 従業員の雇用確約は

教育長／話し合いが
不可欠

松久保 行財政改革の観点から1カ所に統合すべきであるが、3学校給食センターの従業員は将来

の雇用に不安を抱いている。従業員の身分保障や雇用確保及び地元食材納入業者の納入優先を確約できるか問う。

教育長 市の職員については希望も配慮し配置転換する。現在の従業員については、新しく調理・配送業務を受託した業者との話し合いが不可欠である。食材の納入は、市内の業者を中心に考えている。

その他の質問

・消防団員の定数見直し

市立保育所

現状のままで

民間移管する考えは

市長／検討し早期に判断する



峯 勝範 議員

移管を進める方法が良いと確認されているが、行財政改革を進める中、現

状のままで民間移管は考えられないか。

市長 古殿保育所は、築34年が経過し星の子保育所、かつめ保育所と比較して老朽化が著しい現状となっている。今後、民間移管検討委員会の検討結果に基づき早期に判断する。



民間移管が検討されている市立保育所

峯 民間移管検討委員会で検討している事業計画案を示せ。また、未決定案件が多いが、その理由は何か。

市長 現在、検討委員会では、古殿保育所について、建替えか全面改修か部分改修かそれぞれ経費を見積り、また、市が直接改修した場合と民間が改修した場合の補助事業の有無など、国の動向を見極めていく。

峯 検討委員会で、古殿保育所は老朽化が著しく移管先募集などにおいて苦慮することが考えられることから、改修して

アンテナショップ

小倉駅近辺に設ける 考えはないか

市長／県などと連携し進めたい



大園 秀己 議員

大園 北九州市との交流協定を結んでいる本市は、来春の九州新幹線全線開業を機会に本市の農畜産物を販売するアンテナショップをＪＲ小倉駅近辺に設ける考えはないか。

市長 昨年11月に1カ月間交流の一環として黒崎商店街で南九州市フェアを行い好評だった。アンテナショップは経費もかかることから本市だけでなく、県や南薩地域とも連携して進めていきたい。

行政懇談会などの取り組みは

市長／要望があれば出向きたい

大園 市長は、自身のマニフェストの中に行政懇談会・移動市長室を実施するとあるが、これまでの実績を問う。



J R小倉駅近辺の生産者直売所

その他の質問

- ・ 集落営農
- ・ 畜産振興
- ・ 学校給食センター

市長 行政懇談会としては、知覧地域の松山校区で1回開催したが、移動市長室は、会の名称などにこだわることなく、行政嘱託員会を開催している。また、地区の要望があれば出向いていきたい。このほか市長へのメッセージもあり市民からの意見を聞き、地域と共に活動・解決していく。

活動実施計画を示せ

市長／実行委員会を組織し事業の推進を図る

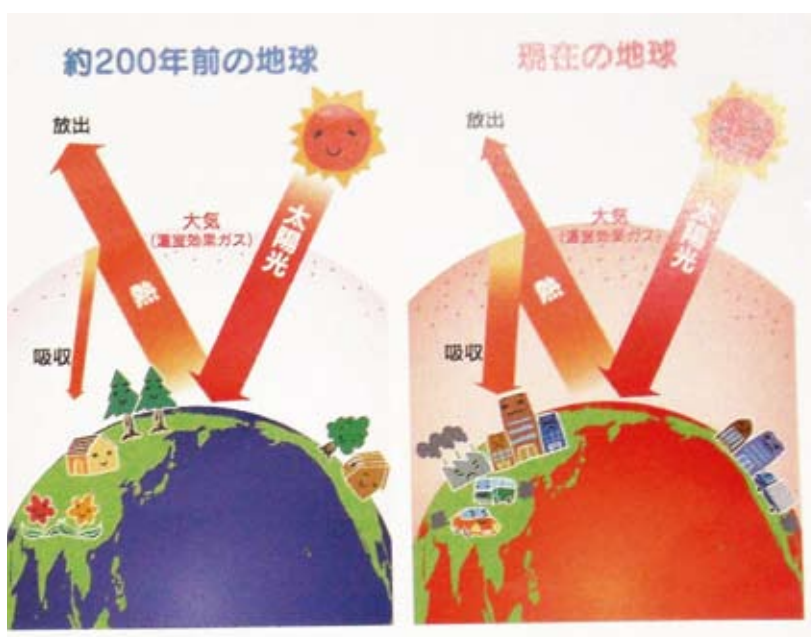
地球温暖化防止



山下つきみ 議員

山下 地球温暖化が世界的な問題となる中、本市においてもその対策は重要度が高くなると考えられる。施政方針に示された地球温暖化防止活動計画をどのように実施していく考えか。

市長 21年1月から12月



までの期間で各庁舎や出先機関など、事業活動の際に発生した温室効果ガスの集計を行い、測定値を基準とした計画書を策定し、22年度から26年度までの5年間で6%の削減を目指す。目的達成までの取り組みとして、実行委員会を組織し、この計画に沿った事務事業の推進を図っていく。

また、環境保全対策と

して新エネルギーの導入について、国、県などにおいては、住宅用太陽光発電システムに対する補助制度を導入しているが、本市においても同制度の導入について、先進地の取り組み状況などを調査研究していきたい。

その他の質問

- ・ ダンボールコンポストへの助成

市の民の声



額娃町 上別府
西 一英

南九州議会へ独り言

私は、平成21年度に自治会長を経験し、南九州市の行事に参加したり、会議などへの出席のために、今まで知らなかった道路を通行したり、市内の施設を利用してたびたび独り言がでます。

車で道路を走っていると、バスやダンパーなどの大型車両が頻繁に通行しており、また、高校生がバイク通学している幹線道路なのに、町境の途中で急に道幅が狭くなり、路面はデコボコ、道路脇の樹木は生い茂り、昼間でも暗い場所を通る

たびに「どうしてこんな危険な道路が何年も改善されないのかな？」と、独り言。

市内の公共施設を利用する回数も増えました。各町それぞれ立派な施設がありますが、なかには老朽化して建て替えを必要とする施設もあります。

3町が合併し南九州市が誕生して3年目になりました。

新事業を始めるとき、新施設を建設するときには、議会で審議し可決しますが、議員各自が、南九州市3町全部が我が地元の共通認識を持つていただき、「南九州市全体の発展のために活躍して欲しい」と、独り言。



知覧町 郡
桃木かずよ

南九州市の一体化を願って

「南九州市」という名称にも馴染んできたこの頃です。議会では山ほどの難題、課題を抱えて市民のためにご尽力いただき感謝しております。

新しい歴史のスタートとともに、市民の市政への関心は以前より高まっているように感じますが、市民と議会が、もう少しお互いに歩み寄る余地があるように思います。

私は現在、知覧特攻平和会館で国内外の多くの方々と関わっています。

「きれいなまちですね」という声をたくさん頂き

市民として喜びと誇りを感じる瞬間です。ただ、

昨年度の来客者数の激減には、少々焦りを感じています。元氣のない南九

州市になつてほしくありません。自然豊かで活力

に満ちた、自信できるわが市に、自信を持ってお

客様をお迎えしたいものです。

これからは、議員の方々にも特攻平和会館や

武家屋敷を、もっと身近に感じて足を運んでいた

だき、来客者の「声や表情」にも直に触れていただけたらと思います。

南九州市の本格的な一体化に向けて、議員の方々には市全体を公正な

目でしっかり見ていただき、市民が安心して暮らせるよう、更にご尽力いただきますようお願いいたします。

編集後記

「緑」を広辞苑で引くと黄と青の間色とある。あざやかな新緑に幾つもの色を数えながら、心が洗われる思いである。

市政3回目の春がめぐってきた。昨年は、流行語にさえなった、国の

「ばらまき」により、事

業執行にも、ある程度のうるおい効果がもたらされたように思うが、その反動に一抹の不安を感じてならない。

限られた財政の中で、市民にとって今、何が必要なのか、取捨選択の適正な判断が議会に求められています。

緑に洗われた清々しい目で、今後もしっかりと市政を見つめていきたいと思っています。

(山下つきみ)



広報編集委員会

委員長 峯苦 勝範
副委員長 山下つきみ
委員 満留 秀昭
大藪 秀己
菊永 忠行

“議会を傍聴してみませんか”

次の議会は**6月15日**開会予定
手続き簡単!! 本館2階で住所・氏名などを
書くだけ